石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

未来からの視点持とう

2019年度学位記授与

236人が学窓巣立つ

尾池学長（左）から川島記念学術賞の賞状を受け取る佐藤香伽さん

2019年度の石巻専修大学学位記授与が3月20日、本学キャンパスで行われた。

学部長、研究科長らが見守るなか、尾池守学長から大学院修士課程総代の2人と学部総代の3人に学位記が、川島記念学術賞を受賞した9人に賞状と記念メダルが授与された。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、学位記授与式の式典、卒業を祝う会（石巻専修大学同窓会、育友会主催）が中止となり、今年度は代表者への授与となった。

尾池学長は、自身の専門であるロケットを引き合いに出し、「未来の視点から自分の現在位置を確認し、夢に向かって軌道修正しながら進んでください」と述べた。

創立30周年を迎えた今年度は、大学院修了生、学部卒業生合わせて236人が学窓を巣立つ。

代表者を除く卒業生には、研究科や学科、ゼミごとに学位記が授与された。卒業生たちは、恩師や4年間をともに過ごした仲間たちとの別れを惜しみつつ、新たな一歩を踏み出した。

2019年度学位記授与者数

	学部	学科	人数
学部	理工	食環境	10
		生物科	51
		機械工	19
		情報電子工	15
		小計	95
	経営	経営	97
	人間	人間文化	16
		人間教育	23
		小計	39
	合計		231

※学期末卒業者を含みます。

	研究科		専攻	人数
大学院	理工学	修士課程	物質工学	－
			機械システム工学	1
			生命科学	2
		博士後期課程	物質機能工学	－
			生命環境科学	－
		小計		3
	経営学	修士課程	経営学	2
		博士後期課程	経営学	－
		小計		2
	合計			5

尾池守学長　送る言葉

石巻専修大学の学部および大学院の各課程を修了された皆さん、ご卒業おめでとうございます。例年通り、ご父母・保護者の皆様が見守る前で学位記授与式を挙行したく検討を重ねてきましたが、新型コロナウイルス予防のため中止せざるを得なかったことは誠に残念でした。

本学での学びや研究を終えた皆さんは、生涯にわたり学び続ける楽しさや必要性に気付き始めたことと思います。さらに自分の夢を達成するために、軌道修正することも経験したと思います。

私の専門である「ロケット」も、特定の星を基準にして今飛行している位置を把握し、目指す軌道に入るための修正を行います。皆さんも未来からの視点で自分の現在位置を確認し、夢に向かって軌道修正しながら進んでください。それが人生です。同時に、人生を楽しむことも忘れないでください。人生には苦と楽があるからこそ面白いのだと思います。

卒業後も気兼ねなく大学に足を運ぶとともに、専修大学の卒業生を含めたオール専修の一員として校友会活動に参加し、存分に世間を広げてください。

皆さんのご健勝とご活躍を祈念して、私からの送る言葉とさせていただきます。

川島記念学術賞に9人

学術の分野で顕著な成績を収めた学生に対し、卒業にあたって授与される「川島記念学術賞」の2019年度受賞者は理工学部4人、経営学部3人、人間学部2人の計9人。学科に続いて所属研究室・ゼミ、出身校。

◆理工学部◆
吉田　茜さん
食環境学科、山崎達也研究室、岩手県不来方高

勝見　浩人さん
生物科学科、中川繭研究室、山形県米沢商業高

木村　光平さん
学部総代・機械工学科、高橋智研究室、宮城県石巻工業高

小原　拓斗さん
情報電子工学科、劉忠達研究室、宮城県佐沼高

◆経営学部◆
大友　將弘さん
学部総代・経営学科、工藤周平ゼミ、宮城県石巻西高

斎藤　聖奈さん
経営学科、岡野知子ゼミ、岩手県花北青雲高

菅原　徹也さん
経営学科、工藤周平ゼミ、宮城県築館高

◆人間学部◆
佐藤　香伽さん
卒業生総代謝辞・人間文化学科、山内武巳ゼミ、岩手県一関第一高

佐藤　ありささん
学部総代・人間教育学科、宮城県小牛田農林高

定年教員

長年にわたり研究や学生の指導に力を尽くされた教員3人が今春、定年退職される。※氏名、所属学科、主な担当、主な役職、在職年数。

【理工学部】
芳賀　信幸教授
生物科学科、「動物生理学」、大学院理工学研究科長、31年

吉原　章教授
生物科学科、「量子物理学」、理工学部長、24年

山本　憲一教授
機械工学科、「自動車工学」、自動車工学センター長、14年

経営・李ゼミ　東京・町田で　「カキ小屋」出店

「おいしい炙り牡蠣をどうぞ」。笑顔で商品を提供する辻本さん（左）と佐々木さん

経営学部の李東勲ゼミの学生が2月21日から23日まで、東京都町田市にある複合施設「ぽっぽ町田」で三陸石巻産カキを使った料理を提供した。流通やマーケティングについて実践的に学ぶ授業の一環で、ゼミ生13人が調理班や物販班などに分かれて、3日間限定の「カキ小屋」の運営に挑戦した。町田市は東日本大震災を機に石巻への支援を行っており、李ゼミの出店は一昨年、昨年に続き3回目となる。

今年は人気の「牡蠣（かき）のカンカン焼き」や定番の「蒸し牡蠣」「炙（あぶ）り牡蠣」「カキフライ」に加え、オリジナルの「牡蠣チヂミ」「牡蠣とわかめスープ」の計6品を販売した。辻本琴美さん（1年次・宮城県古川学園高）、佐々木優衣さん（1年次・宮城県桜坂高）が笑顔で商品を提供。イベントには3日間で約1000人が訪れ、旬のカキ料理の数々を味わった。来場者からは「こんなに大きなカキを食べるのは生まれて初めて」「調理の仕方によって味が変化するカキの魅力を堪能できた」などの感想が聞かれた。

佐藤友人さん（2年次・宮城県佐沼高）は「販売戦略を立てる際に工夫したことやチャレンジしたことが実を結んだ。この経験を、新年度に予定している専修大学への国内留学に生かしたい」と語った。新型コロナウイルスの影響もあって「3日間の総売り上げ80万円」という目標には届かなかったものの、ゼミ生にとって成長を実感できるイベントになった。

藤川滉大さん（1年次・宮城県迫桜高）は「日々の学びをお客様相手に実践できる貴重な機会となった。将来はマーケティング関連の仕事に就きたい」と語った。

模擬面接で就活対策

3年次生を対象にした「就職活動総合セミナー」が2月13～14日と20～21日に行われた。同セミナーは本格的な就職活動を前に、企業の人事担当者を招き、履歴書の書き方や面接時のマナーなどを学ぶために毎年開かれている。就職活動を終えた4年次生の有志による「就活サポーター」もスタッフとして参加した。

最初に行われた全体セミナーでは、履歴書作成のポイントを確認した。午後からのグループセミナーでは、3班に分かれて面接時の立ち居振る舞いなどを学んだ後、模擬面接に挑戦。その模様をビデオで撮影し、終了後に映像を見ながら講師と就活サポーターからアドバイスを受けた。葛西佑壱さん（理工3・青森県弘前南高）は「面接の流れがよく理解できた。実際に経験したことで得るものが多かった」と手応えを口にした。

参加者たちは、セミナーを通じて効果的な自己表現の方法を身につけ自信を深めた。高橋彩夏さん（経営3・岩手県水沢高）は「模擬面接の回数を重ねるごとに工夫することができた。本番も自然体で臨みたい」と話した。

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

経営学部
情報マネジメント学科
2021年4月開設
（設置構想中）